

劇団「むさしの座」第28回公演

「いつだって今だもん」

—きのうとあしたのラブストーリー—

作 谷川俊太郎

演出 森 喜行



武蔵村山市民会館

小ホール

11月19日（土）午後7:30～午後8:40

11月20日（日）午後3:00～午後4:10

入場無料

11000年前の王子と
今から一五年後のマリーとの出会い……
世にも不思議な世界へ
あなたを招待!



劇団「むさしの座」は、いろいろな職業の人や学生達のアマチュア劇団です。会費は月に1,000円という条件だけでどなたでも大歓迎!

お問い合わせは広石まで
60-8755

劇映画「一杯のかけそば」
11月20日(日) pm.1:00~2:40
小ホール

キャスト

マ	リ	大野	益代
王	子	長谷川	真理
道	化	大石	健二
マ	リ	野村	美月
	の母		
	王	広石	幸弘
子	ども	高橋	光香

スタッフ

舞	台	監	督	内野	辰美		
効	果			宮崎	保		
照	明			久保田	国夫		
衣	裳			梶	文子		
音	楽			広石	一人		
大	道	具		桐原	博	宮津	康彦
小	道	具		松浦	幸子	沢野	和子
				浜辺	志奈子	藤本	恵美子
制	作			広石	康子		

●あらすじ

ある国にあくびばかりしている王子がいた。そばでつかえている道化は、王子を楽しくさせようとするが、ちっともあくびはとまらない。王子は不思議な歌声が聞こえるところへ旅をしようといいだした。二人の危険な旅が始まった。一方、こちらは二千年後の地球。核戦争で何もかもほろびて、残っているのは、人間の少女ひとり。十五年前、核爆発の寸前に、父親が、母親そっくりのロボットの中に、赤ちゃんをかくして、ひとり生き残ったのだ。少女は、ビデオや本で、いろいろな知識はあるのだが、動物や生物や風や香等の本当の感じを知らない。

—ある日、王子と少女は、だれも通れない不思議な壁をはさんで出会ってしまう。

この作品は、楽しく美しいSFの児童劇で、いろいろなイメージをつくってみたいと張り切っています。